

# 第43回 漢字研究会

令和6年6月当番担当：今田和彦

1. 日 時 令和6年6月22日（土）午前10：00～12：00
2. 会 場 曳馬協働センター 301講座室
3. 出席予定者 飯田・井上・今田・桑原・菰田・細谷・山崎（7名）

学 習 内 容	担当者	時間表
<p>1、小テスト実施と回答・自己採点・感想</p> <p>出題範囲 漢字の読みP86～89 B（10問） 書き取りP122～125 B（10問）</p> <p>※いたって常識的な問題でしたが、さすがに準一級は勉強していないと難しい。 ・気になる漢字「邑」</p> <p>※「邑」は、むら・町の意味、大都会ではない。うれえる、の意味も。</p>	<p>（出題者） 井上さん</p>	<p>10：00～10：25 <b>（20分）</b>  <b>（5分）</b></p>
<p>2、私の選んだ故事成語（順番に毎回1人発表）</p> <p>「一将功成りて万骨枯る」</p> <p>※一人の輝かしい功名の陰には多くの人が犠牲になっているとの教え。唐王朝末期の詩人「曹松」の漢詩「己亥の歳」の一節。</p>	飯田さん	<p>10：25～10：40 <b>（15分）</b></p>
<p>3、自由研究発表</p> <p>（1）難読文字（6）</p> <p>※ネットで出題されている難解文字。枕席（ちんしつ）が寝室はなるほどだが、御御御汁（おみおつけ）味噌汁は難読だ。</p> <p>（2）宮崎美子の「世界の国名漢字クイズ」</p> <p>※飯田さんの「宮崎美子」シリーズは、今回は世界の国名の漢字の問題。加奈陀の（カナダ）は比較的やさしいが、莫臥児の（モンゴル）は難しい。</p> <p>（3）「旧漢字でわかる漢字の成り立ち・医・醫」</p> <p>※当用漢字が制定され、略字が採用されてから、旧字体が持っていた漢字の成り立ちを失わせる結果となった。</p>	<p>細谷 飯田 今田</p>	<p>10：40～11：00 <b>（20分）</b></p>
休 憩	5分	11：00～11：05
<p>4、漢文に親しむ</p> <p>（1）今月の課題（担当：山崎さん） 資料No.6「不忍人之心」（孟子）</p> <p>※中国戦国時代の儒教思想家・孟子の「人間は誰でも四端（したん）の心（4つの道德感情）が存在するという性善説を説いた教え」</p>	<p>山崎さん</p> <p>全般解説：菰田さん</p>	<p>11：05～11：45 <b>（40分）</b></p>
<p>5、次回のお知らせ等</p> <p>（日）7月27日（土）北部協働センター第2会議室 （月）運営当番：桑原さん （火）小テスト（担当：今田）（読み：B(火)(水)、書き取B(火)(水)） （水）私が選んだ故事成語（井上さん） （木）漢文に親しむ（飯田さん） No.7 勸学（荀子）</p> <p>※7月は会場が変わるので注意を！</p>	全員	<p>11：45～12：00 <b>（15分）</b></p>